

資料 3

National
Parks
of Japan



国立公園における利用者回復に向けた
取組及び国立公園満喫プロジェクトの
8公園を中心とした取組状況

- 新型コロナウイルスの影響により、国内外の観光客が大幅に減少し、国立・国定公園におけるツアーや宿泊等の事業者に大きな影響が生じている。
- コロナ収束前の段階から、収束後を見据えたツアー準備等に取り組むことで、関係事業者の雇用を維持・確保するとともに、魅力的なツアー等による旅行者数の増加、地域経済の活性化を目指す。

事業1. 国立公園等において切れ目なく魅力的なツアー・イベントを準備・実施 (1,600百万円) <補助>

事業概要

◆自然体験アクティビティ等を行うエコツーリズム事業者やDMO（観光地域づくり法人）等に対し、以下について支援する。

- ①ツアー・イベントの企画・実施
 - ②特にコロナ収束前の段階から、海岸清掃・修景伐採・歩道修繕といったツアー準備
- ※アドベンチャーツーリズムやサステナブルツーリズムに資するものやワーケーションと連携して実施するものを優先



星空撮影イベント



親子カヤック



ガストロミーウォーキング（500人程度参加）



事業2. 緊急プロモーションの実施 (800百万円) <直轄（請負）>

事業概要

- ◆まずは国内向けに、国立公園等での遊び方といった魅力を伝えるプロモーションを実施。その後、感染症の収束状況を踏まえ国外プロモーションを実施。
- ◆各種メディア等を活用したデジタルマーケティング（バナー広告等）による国立公園等の魅力を訴求するプロモーション等を実施。

Tsukuba Highlands National Park



Shirane National Park



プロモーションイメージ



広告など



※国内向けの誘客・ワーケーション等新たな利用のためのプロモーションとそのためのサイト整備等を想定

- 新型コロナウイルスの流行以降、感染リスクの低いキャンプ場等の自然志向の高まりとテレワークの定着が進み、ワーケーションの機運が高まっている。
- ワーケーションを受け入れるための環境整備を行い、自然の中でクリエイティブに仕事を行うとともに、家族も安心して自然を満喫できる、国立公園等で「遊び、働く」という新たなライフスタイルを示す。
- ワーケーション推進に伴うロングステイとエコツアーの利用促進により、withコロナ時代の地域経済の下支えや平日の観光地の活性化を目指す。

事業概要

① キャンプ場でのワーケーションの実施



キャンプ場での
ワーケーション



子供向け
プログラム

② 旅館等でのワーケーションの実施



南紀白浜（白浜町）



鉄輪温泉
（別府市）



鳴子温泉郷
（大崎市）

◆ 国立・国定公園、国民保養温泉地のキャンプ場・旅館・ホテル等の事業者、DMO、地域協議会等に対し、以下について支援する。

- ① ワーケーションツアー等の企画、実施
- ③ プロモーションの実施

- ② 子供向けプログラムの企画・実施
- ④ ワーケーションのためのWi-Fi等の環境整備

誘客及びワーケーションに係る補助事業の申請・採択結果

合計501件を採択（うちワーケーション関連は271件）。約72億円、1,200件弱の申請。
今後、34すべての国立公園で事業が実施される見込み。

① 基盤整備

○ 利用施設の整備

慶良間諸島国立公園

- 座間味島の神の浜園地に、ケラマブルーの景色と夕日や星空を楽しめる、**神の浜テラス**が6月にオープン。



星空を楽しめるように半分、屋根をなくした造りに
【神の浜テラス】

支笏洞爺国立公園

- 支笏湖ビジターセンターでは、登山、カヌー、ダイビングなどのアクティビティや、空撮映像、「樽前山の火口」など立入規制エリアの**3D動画を視聴できるVR展示を設置**。公園利用者の滞在時間延長やフィールドに導く効果を期待
- R2年度は、5公園の8カ所において、デジタル技術を活用した展示を導入予定



VRの他、多人数向けに4Kシアターでも放映
【支笏湖ビジターセンター】

○ 多言語解説の充実

8国立公園 他

- R1年度は、8公園を中心に直轄及び自治体施設の案内解説板やビジター展示等の多言語化を推進。2次元コードを活用したアプリにより、英・中等複数言語に対応。
- R2年度は、**補助対象を自治体から民間にも拡充した**。また、8公園では整備箇所等を拡大。**さらに、他の10数公園でも整備を予定**。



2次元コードを活用した多言語化

② コンテンツの磨き上げ・受け入れ体制強化

★：国際観光旅客税による事業

○夜のコンテンツの充実



- 国立公園等ならではの魅力ある**自然・文化・歴史を楽しめるナイトタイムコンテンツ**の造成について、**13公園及び国民保養温泉地**にて取り組みを検討。
- また、一定エリアの回遊性・消費額増を目的として実施する、文化庁・観光庁・環境省における3省庁連携事業では、4事業が国立公園関係として採択。



星空観察（イメージ）

○地場産品を活かしたサステナブルツーリズムの推進



- 日本の国立公園ならではの「食」「お土産」の**開発、高付加価値化等**を支援。
- R2年度は6公園（日光、秩父多摩甲斐、富士箱根伊豆、瀬戸内海、大山隠岐、慶良間諸島）において7事業を採択



文化を伝えることによる高付加価値化（イメージ）

○野生動物観光の促進



- 野生生物保護センターの改修をR2年度中に実施予定（3カ所）
（釧路湿原野生生物保護センター・佐渡トキ保護センター・西表野生生物保護センター）
- インバウンドを対象とした**野生動物を観察するツアーの開発**やそれらツアーのプロモーション等の取組を補助事業により支援。海外の旅行博への出展、**ツアーコンテンツの開発を実施**。（R1年度：12事業、今年度：8事業）



釧路湿原野生生物保護センターのオオワシ(左)とオジョロワシ(右)

②コンテンツの磨き上げ・受け入れ体制強化

★：国際観光旅客税による事業

○ビジターセンター等でのアクティビティ情報の提供

- 8 + 3 公園のビジターセンターにR1に設置した、アクティビティ等の情報を一元的に多言語で提供するデジタルサイネージ等について、さらに8つの公園で整備予定
- 駅前案内所等/ビジターセンタースタッフ向けのコンシェルジュ研修/情報交換会を実施し、案内所等スタッフが地域のアクティビティを無料体験できる枠組みを構築中。コロナを受け、マイクロツーリズム推進も兼ねたスタッフ向けのアクティビティ体験事業を実施

システムを通じて予約できるアクティビティ



日光国立公園



研修/情報交換会の様子

○国立公園コンテンツの質の確保及び向上

- 国立公園への持続的な誘客の強化及び新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた旅行業関係者の信頼度や利用者の満足度を高めるため、国立公園で提供するコンテンツの質の確保・向上を目的としたガイドラインのとりまとめを実施

○国立公園コンテンツの充実・誘客力の強化

- 国立公園コンテンツ集2020については、23公園に拡充し、合計約300コンテンツを掲載予定（2019は17公園、計185コンテンツを掲載）。また、各コンテンツを活かしたモデルコース60コース程度や複数公園を横断するモデルコース3コース程度も作成し掲載予定
- また、コンテンツの中からOTA（Voyagin, Viator, Expedia）へ合計約100コンテンツの掲載支援を実施予定。



③ 引き算の景観改善

★：国際観光旅客税による事業

○利用拠点における景観の上質化（詳細別紙）

- 国立公園の利用拠点において、**廃屋撤去やまちなみ改善等を公共と民間が一体となって面的に取り組む滞在環境等上質化事業**をR1年度から開始。R2年度は、阿寒摩周、三陸復興、大山隠岐、雲仙天草等の**11公園**で実施。

1) 川湯温泉再生に向けた取組 **阿寒摩周国立公園**

弟子屈町と連携しつつ、環境省において廃屋（旧華の湯ホテル）撤去をR1年度から実施中。R2年度は、2件目の廃屋（旧川湯プリンスホテル）の撤去に着手。温泉配管により損なわれている景観改善等も支援。

解体跡地は、地元行政等が中心となり、複数の民間事業者と連携し、地場産品を提供しながら温泉を楽しむ交流広場としての活用を検討中。

2) 十和田湖畔の景観改善と廃屋撤去 **十和田八幡平国立公園**

十和田市が市道石畳化を計画するとともに、地域事業者が上質化補助金を活用して建物外観の改善を進めるなど、関係者が一体となって街並みの上質化に取り組んでいる。

環境省においては、旧十和田観光ホテル撤去をR1年度から実施、引き続き土産物店3棟の撤去を計画。



撤去予定の土産物店



老朽化した外壁を修繕

3) 三陸海岸における景観改善 **三陸復興国立公園**

みちのく潮風トレイル全線開通との相乗効果を見据え、三陸海岸沿岸部において、R1年度より、地方公共団体が行う廃屋の撤去と跡地への新たな民間サービス導入を支援中。R2年度も支援を継続。

③ 引き算の景観改善

★：国際観光旅客税による事業

○利用拠点における景観の上質化

4) 出雲市における景観改善に向けた取組

大山隠岐国立公園

日御碕地区において、R1年度に、地域の多くの中小事業者（店舗、宿泊施設等）が参画した利用拠点計画の作成を支援。R2年度は、地区での一体的な景観の改善・創出に向けた支援を実施。



今後改善を予定している不統一な景観のまちなみ

5) 雲仙温泉地区の上質化

雲仙天草国立公園

H30年の周辺地域の観光資源の世界文化遺産登録や今後の長崎新幹線の開業等も契機にとらえ、R2年度は、自治体による温泉配管整理、民間事業者等による老朽化した旅館の解体等を支援。解体跡地については、民間の宿泊施設が活用予定。



景観を損ねている温泉配管（現在の様子）【雲仙温泉】

○地域の取組による無電柱化

富士箱根伊豆国立公園

- 富士箱根伊豆の富士山エリア白糸の滝園地周辺において、静岡県が無電柱化推進計画に基づき、**電柱地中化を実施**。併せて富士宮市が園地を再整備し、**店舗の移転・外観統一、バリアフリー化等**を実施した（H30～R1年度）。

無電柱化により、園地からの富士山の眺望が大幅に改善



【富士箱根伊豆国立公園 白糸の滝園地】

④ 利用者負担による保全の仕組みづくり

★：国際観光旅客税による事業

○入域料等の推進・事業者等による環境保全・維持管理への負担

- ・ 妙高山、火打山では、これまでの社会実験の結果等を踏まえて、**地域自然資産法に基づく入域料（500円）** 収受をR2年7月1日から開始
- ・ 西表島では、利用者負担の仕組み導入に向け、有識者・行政機関・関係団体等をメンバーとした勉強会および意見交換会を開催。利用者アンケート等の結果も踏まえ、**R1年度に西表島来訪者費用負担推進計画（案）**を策定

妙高戸隠連山国立公園



西表石垣国立公園

⑤ 多様な宿泊サービスの提供

上質な宿泊施設の開業

- ・ R2年7月15日に栃木県日光市に上質な宿泊ホテルが開業

日光国立公園



ザ・リッツカールトン 日光

民間企業と連携した国立公園グランピングの実施

- ・ グランピング等の事業立ち上げやトライアル実施等を支援 ★

R2年度11件：尾瀬、日光、上信越高原、富士箱根伊豆、伊勢志摩、瀬戸内、大山隠岐、阿蘇くじゅう、屋久島、西表石垣国立公園



⑥ 公共施設の民間開放

○公共施設の整備運営に民間ノウハウの活用

- 環境省として初めて設計・工事・運営等を一体的に行うDBO方式により公募し、株式会社モンベルを代表法人とする共同事業体を選定。令和3年度から同社が運営者となり、施設の供用を目指す。
- 日光国立公園のキャンプ場再整備でも、DBO方式により公募を予定。

大山隠岐国立公園

下山野営場(整備イメージ)



サービス提供イメージ

(写真:株式会社モンベル)

○カフェの設置等による快適性向上

- 座間味港ターミナルの隣接地に座間味ビジターセンターの整備に着手し、施設の管理運営事業者の公募を7月に開始。令和3年度より、カフェ・物販部分を含めた民間による一体的な管理運営を行い、快適性や利便性の向上を目指す。

慶良間諸島国立公園



座間味ビジターセンター (イメージ)

⑦ 民間事業者等との連携

○「国立公園オフィシャルパートナー」との連携

- 国立公園とパートナーシップ企業等との連携による国立公園にかかるコンテンツ造成・プロモーション等の取組を推進するため、マッチング支援やネットワーキングを実施。
- 各パートナーシップ企業の情報発信媒体あるいは商品ツールを活用して、国立公園をPRあるいはツアー商品として発信。



オンラインでのOPとの情報交換会



OPIによる各種情報発信等取組

⑧ プロモーション

★：国際観光旅客税による事業

今年度、国内向け誘客の強化と新型コロナウイルスの状況を見ながら海外への段階的プロモーションを予定
2021年以降のプロモーション戦略の策定のための調査実施及び戦略策定を行う

○新宿御苑での国立公園情報の発信 ★

- 新宿御苑インフォメーションセンターに国立公園の情報を総合的に発信する「National Parks Discovery Center」をオープン（R2.7）。4Kシアター、デジタルサイネージ、国立公園案内カウンター等を設置。



National Parks Discovery Center内部

○国内外旅行博等での情報発信等

- 国立科学博物館において日本博事業により「国立公園展」を実施（8/25～11/29）
- ツーリズムEXPO（10/29～11/1@沖縄）にて国内外の旅行会社やメディア等とのビジネスマッチングを実施予定



国立公園展

○JNTO国立公園サイトの充実等による情報発信 ★

- JNTO国立公園サイトについて、ユーザビリティの向上やコンテンツのさらなる充実のほか、繁体字サイトの作成を予定
- 新型コロナウイルスの状況を見ながら、国立公園公式SNS等を活用した国立公園の魅力発信による認知度向上やプロモーション素材となる動画撮影等を行い、適時に広告配信等を実施予定

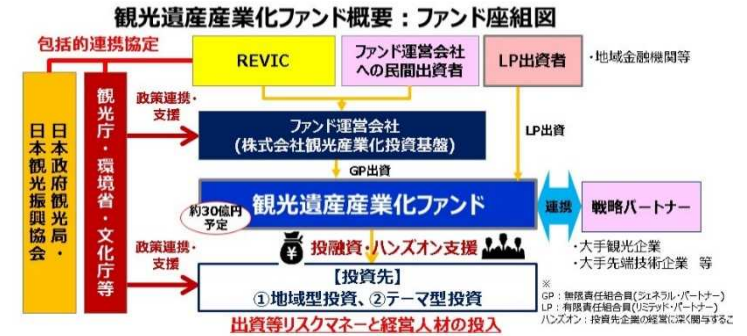


JNTO国立公園サイト

⑨ 関係省庁や地域との連携

○ (株) 地域経済活性化支援機構との連携

- ・ (株)地域経済活性化支援機構の「観光遺産産業化ファンド」により、民・官・公・金の連携で国立公園を地域の観光資源として磨き上げる取組について、北海道東エリア（阿寒摩周）と栃木エリア（日光）で具体検討を開始。栃木エリア（日光）では東武鉄道が戦略パートナーに参画。



○ DMO等との連携強化

- ・ 国立公園利用企画官が配置された国立公園を中心に、DMO、国立公園管理事務所、運輸局、観光庁との連携推進に向け情報共有体制を構築
- ・ **DMO日光の事業支援**等を行う機関として、**現地事務所が参画**

⑩ 全国展開

○先進的インバウンドプロジェクト支援事業

- 自然体験コンテンツの上質化や地域独自性の磨き上げ、複数国立公園あるいは国立公園内の周遊の促進を図る取組など、**滞在期間の延伸、消費額の増加等につながる取組を支援する事業**をR1～R2にかけて実施中（支援先は7団体）。



【阿寒摩周】

火山やサステナブルツーリズムの観点での海外先進地のリサーチに基づくコンテンツの磨き上げ

【霧島錦江湾・屋久島・奄美群島】

海外専門家の招へいによる現地調査、WS等による課題の抽出、ストーリー構築

○新規の連携体制構築等

- **磐梯朝日国立公園（磐梯吾妻猪苗代地域）**において、県内外からの誘客等に向けた**地域の協議会や計画づくり**を今年度進める予定

○自然公園制度の見直し

（参考資料1参照）

- 昨年度、自然公園制度のあり方検討会（座長：下村彰男東京大学大学院教授）を設置し、国立公園での利用や公園事業・集団施設地区のあり方等について検討を行い、**2020年5月**に「**今後の自然公園制度のあり方に関する提言**」を取りまとめた。

申請：25件（全件採択）、交付要望額合計：382百万円

公園名	立地自治体	事業概要	申請者
<利用拠点計画策定> ※作成済み計画の変更を含む			
岩手県普代村、福島県北塩原村、高知県土佐清水市			
<廃屋の撤去>			
知床国立公園	北海道羅臼町	ホテル廃屋撤去	株式会社玉川組
三陸復興国立公園	宮城県気仙沼市	国民宿舎廃屋撤去	気仙沼市
足摺宇和海国立公園	高知県土佐清水市	レストラン・売店施設撤去	(株) 高知県観光開発公社
雲仙天草国立公園	長崎県雲仙市	宿泊施設の離れ棟等の撤去	(株) 雲仙富貴屋
霧島錦江湾国立公園	宮崎県高原町	休憩所の廃屋撤去	(株) HIKARIホールディングス
<インバウンド機能の向上>			
阿寒摩周国立公園	北海道釧路市	阿寒湖畔スキー場多言語標識等整備	釧路市
上信越高原国立公園	長野県山ノ内町	公衆トイレ洋式化	山ノ内町
雲仙天草国立公園	長崎県雲仙市	公衆トイレ洋式化	長崎県

令和2年度国立公園利用拠点滞在環境等上質化事業への申請と採択事業 (2/2)

公園名	立地自治体	事業概要	申請者
<まちなみの改善>			
阿寒摩周国立公園	北海道弟子屈町	川湯温泉の河川周辺の修景	弟子屈町
十和田八幡平国立公園	青森県十和田市	店舗の外観修景等	(有)たかせ*1
大山隠岐国立公園	鳥取県大山町	旅館の外観修景	弥山荘
大山隠岐国立公園	島根県出雲市	日御碕地区の上質化（店舗の外観修景等）	(有)幸洋丸*2、柿谷商店、浜崎屋商店、圓山商店、花房商店（5件）
雲仙天草国立公園	長崎県雲仙市	雲仙温泉地区の上質化（雲仙地獄周辺、宿泊施設等の外観修景等）	雲仙市、(株)新湯ホテル、イシドウ観光開発(有)（3件）
霧島錦江湾国立公園	鹿児島県霧島市	ホテルの外観修景等	(株)霧島ホテルマネジメント*1
<既存施設のリノベーション>			
釧路湿原国立公園	北海道標茶町	茅沼地区宿泊施設のリノベーション（設計）	標茶町
大山隠岐国立公園	島根県大山町	宿泊施設のリノベーション	(株)さんどう

* 1 「インバウンド対応機能強化」にも併せて申請

* 2 「既存施設のリノベーション」にも併せて申請